

# 島根県生活基盤施設耐震化等事業計画(変更)に対する事前評価結果

都道府県：島根県

計画の名称	島根県松江市ほか16市町村における水道事業基盤強化及び水道施設耐震化等推進計画		
計画作成主体	島根県	計画期間	平成28年度～令和2年度(5カ年)
交付対象事業	水道施設等耐震化事業、水道事業運営基盤強化推進事業		
交付対象事業体	松江市、安来市、雲南市、奥出雲町、出雲市、大田市、美郷町、川本町、邑南町、江津市、浜田市、益田市、津和野町、吉賀町、西ノ島町、知夫村、隠岐の島町(17市町村)		
項目	評価細目	評価	説明欄
I 目標の妥当性	①上位計画等との整合性	○	島根県総合発展計画の第3次実施計画(平成28年度～平成31年度)に定める政策(Ⅱ安心して暮らせるしまね)及び島根県地域防災計画に定める災害対策計画の内容(上水道施設の安全性確保)と整合が取れている。また、市町村総合計画及び水道事業者策定の地域水道ビジョン等に定められている計画とも整合が取れている。
	②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合)	○	各市町村における地域の課題である「災害に強いまちづくり(水道施設耐震化の推進)」、「安定した水の供給」、「水道事業運営基盤の強化」及び「水道施設老朽化対策」に適切に対応した目標となっており整合が取れている。
II 計画の効果・効率性	①事業計画の目標と定量的指標の整合性	○	事業計画の目標として適切な定量的指標の設定となっており、整合が取れている。
	②定量的指標の明瞭性	○	定量的に把握が可能な算定式により確実に算定される指標であり、明瞭である。
	③目標と事業内容の整合性	○	目標を達成するために必要な事業内容であり、整合が取れている。
	④事業の効果の見込みの妥当性	○	各事業の実施により目標は確実に達成されるため、効果の見込みは妥当である。
III 計画の実現可能性	①円滑な事業執行の環境(用地取得の見通し、関連法手続きの見通し等)	○	用地については各事業体が取得済みまたは地権者の事前了解が得られている。また、工事に伴う道路管理者等の関係機関とは事前協議済であり、円滑な事業実施が可能と判断できる。
	②地元の機運(当該事業に係る要望等)	○	地元関係者の同意または理解が得られており、地域住民からは早期完成を望まれている。
IV 評価結果	<p>○ 評価 I 事業を実施</p> <p>○ 評価 II 計画の見直し</p>		<p>[評価基準]</p> <p>評価 I は全項目に○印がついている</p> <p>評価 II は1項目でも×印がついている</p>